

実践『ペルソナ』通信 (No. 122)

「イヤホン・ヘッドホン」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「イヤホン・ヘッドホン」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、女子大生は全員がイヤホンまたはヘッドホンを所持しており、特にワイヤレスイヤホンの所持率が最も高く、通学時に使用する人が多いことがわかりました。Apple 製品を使用している人が多いため、白いイヤホンの使用率が高くなっていると考えられます。また、女子大生は比較的安価なイヤホン・ヘッドホンを購入している傾向があり、持ち運びやすさを重視していることがわかりました。

調査結果のポイント

(1) ヘッドホンよりイヤホンの方が多い

大学内で撮影を行いました。ヘッドホンよりもイヤホン（有線イヤホン・ワイヤレスイヤホン）の方が多い傾向が見られました。

(2) 白色のイヤホンが多い

有線イヤホンとワイヤレスイヤホンどちらも白色のイヤホンが多い傾向が見られました。また、黒色のイヤホンを使用している人も数人いました。ワイヤレスイヤホンにケースを付けている人もいましたが、ケースも白色もの無地で、シンプルなイヤホンを好んでいる人が多いと考えられます。

(3) 服が無地の人が多い

有線イヤホン、ワイヤレスイヤホン、ヘッドホンをそれぞれ持っている人の服装が無地の場合がほとんどであるという傾向が見られました。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学年・全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2024年 11月～12月
- ・調査場所：実践女子大学

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 佐々木汐璃・高橋実里・奥田花奈子

写真

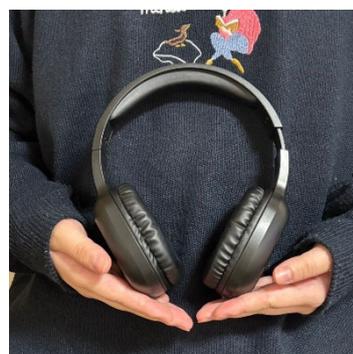
【有線イヤホン】



【ワイヤレスイヤホン】



【ワイヤレスヘッドホン】



【有線ヘッドホン】



調査後記

今回の調査を通じて、回答者全員がイヤホンまたはヘッドホンを所有していることがわかりました。特に、最も多く使用されているのはワイヤレスイヤホンであり、その理由として「持ち運びやすさ」や「ノイズキャンセリング機能」が主に挙げられました。これらの機能は、外出先での利便性を向上させるだけでなく、騒がしい環境でも快適に音楽を楽しむために重要視されていると考えられます。また、使用場面としては通学時が最も多く、音楽のサブスクリプションに 7 割の人が加入していることから、多くの人が日常的に音楽を聴いていることがわかりました。

現在、最も使用しているイヤホン又はヘッドホンに満足している割合が高い一方で、期待する新機能やデザインについて、利便性や機能性の向上を求める声が多かったことから、現状の製品に対して何らかの不満を感じている人も一定数いると推測できます。例えば、バッテリーの持続時間や装着時の快適さ、さらには音質の向上など、より使いやすく高性能な製品への期待がうかがえます。

さらに、A 面の調査結果と Be 面の写真観察から、イヤホン・ワイヤレスイヤホンは白や黒が多く、ヘッドホンは特に黒が多い傾向が見られました。しかし、ヘッドホンの使用者自体が少ないことから、写真の分析を通じて、多くの人が持ち運びやすさを重視してイヤホンを選んでいると推測できます。特に、コンパクトで収納しやすいワイヤレスイヤホンが人気であることから、持ち運びやすさが選択基準の一つになっていることが改めて確認されました。

多くの学生の方に調査への回答・写真の提供をしていただいたことにより、本調査を無事に終えることができました。今回の調査で学んだことや反省点を今後を活かし、より良い調査・分析を心がけていきたいと思えます。

改めて調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。